

国際交流を通して世界の文化を見つめる

東京プライム・シンフォニー オーケストラ

群馬音楽センター公演

子供文化芸術活動
支援事業
18歳以下の方を
500名
ご招待!

群馬音楽センター設計
アントニン・レーモンド
(1888-1976)
Antonin Raymond



曾我大介
Daisuke Soga
(指揮)
Conductor



キム・スンヨン
Kim Soon-young
(ソプラノ)
Soprano



キム・スンイル
Kim Seung-Il
(作曲)
Composer



金古萌燃
Mone Kaneko
(ヴァイオリン)
Violin



ウ・スヒョン
Woo Suhyeon
(ヴァイオリン)
Violin



里見莉衣乃
Riino Satomi
(ヴァイオリン)
Violin



大竹温子
Atsuko Otake
(ヴィオラ)
Viola

群馬音楽センターでの演奏会実施に向けて /

クラウドファンディングに挑戦

募集期間：2023年7月3日～2023年8月31日 目標金額：250万円

群馬音楽センターを文化創造の拠点に
東京プライム・シンフォニー・オーケストラの発展を
近隣外国諸国との文化交流を

ご支援はWEBより受け付けております。右記QRコードより
アクセスお願いいたします。ご支援よろしくお願ひします!



日韓特別ガラコンサート

2023年9月30日(土) 15:00開演 (14:30開場)

群馬音楽センター 全席自由 3,000円 【司会】鈴木美知留

第1部 協奏曲の夕べ

金古 萌燃

モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 K.211 第1楽章
Mozart / Concert, violin No.3 K.211 D major 1 Mov.

ウ・スヒョン

ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26
Bruch / Concert, violin No.1 op26 G minor

里見莉衣乃 大竹温子

モーツァルト／ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲
変ホ長調 第1楽章
Mozart / Sinfonia concertante, violin, viola K.364 E-flat major

第2部 韓国のディーバ キム・スンヨンを迎えて

ソプラノ キム・スンヨン Soprano Kim Soon Young

キム・スンイル作曲 Kim Seung Il

－秋の祈り－愛と平和－別れ(哀歌)

－秋の祈り－Autumn Prayer －愛と平和 －Love and peace

－別れ(哀歌)－Sad Song

モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」より“伯爵夫人のアリア”
Mozart / 《la nozze di Figaro》e Susanna non vien - dove sono

ロッシーニ／歌劇「セビリアの理髪師」より“今の歌声は”
Rossini / 《Barbiere di Siviglia》Una voce poco fa

主催：一般社団法人東京プライムシンフォニーオーケストラ、群馬音楽センターを愛する会、株式会社空間あい

共催：一般社団法人群馬オペラ協会、NPO日本少年少女オーケストラ協会

後援：駐日韓国大使館、韓国文化院、群馬県、高崎市、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、群馬楽友協会、高崎国際音楽協会
チェコ共和国大使館、チェコセンター東京



東京プライム・シンフォニー・オーケストラ (TPSO) 群馬音楽センター公演に向けて

2019年9月に高崎芸術劇場がオープンしてから、群馬音楽センターでのプロのオーケストラの演奏会がまったくなかったが、一昨年群馬音楽センター開館60周年に弊社において群馬交響楽団演奏会を開催してから、2年再度群馬音楽センターでのオーケストラ演奏会を開催するに至った。今回、韓国からの国民的なソプラノ、キム・スンヨンと作曲家のキム・スンイル氏を迎え彼の作品を本邦初演し、また若手の音楽家と迎え日韓音楽交流、そして地元の群馬オペラ協会のソリストを迎えての共演と実現できることは、喜び堪えない。

私は、群響、京響、そして東京シティ・フィルという地方、在阪、在京のオーケストラ、そして最も豊かなオーケストラから貧しいオーケストラまで働き、日本のオーケストラ界を熟知しているつもりだ。現在既存のオーケストラ以外に様々な形態のオーケストラが誕生している。また市民の文化力を高めるためにオーケストラの活用が必要だと考える中、TPSOの運営に、縁あって携わることになり、今回の群馬音楽センター公演を企画するにいたった。TPSOは、2007年国内外で活躍するフリーランスの演奏家や在京オーケストラメンバーにより新たな演奏の可能性と芸術性を求めて創立されたオーケストラで今回の群馬音楽センターでは、第31回の定期演奏会となる。今回本年5月より韓国光州国際音楽祭2023での公演が成功裡におわり、その成果を群馬音楽センターでの公演を披露することになった。最後に、主催・共催として群馬音楽センターを愛する会、一般社団法人群馬オペラ協会、NPO法人少年少女オーケストラに感謝したい。

一般社団法人 東京プライムオーケストラ代表理事 **新井 浄**

クラウドファンディングの実施にむけて

2019年に高崎芸術劇場が完成してすべてのパフォーマンス・アーツは、高崎芸術劇場へ移行してしまい、群馬音楽センターの機能が問われている。群馬音楽センターを再度地域の文化活性化のために、今回の企画にたどり着いた。そして群馬音楽センターの価値を若い世代に伝え、その存在を身近に感じてもらうために、18歳以下の若い方々を、二つの演奏会にそれぞれ500名を招待します。

群馬音楽センターは、日本の近代建築の父アントニン・レーモンドにより設計され、1961年に開館した。「昭和三十六年、ときの市民之を建つ」の石碑にあるように、市民の浄財によって建設された。この群馬音楽センターは、群響の本拠地として60年間、群馬音楽センターと群馬交響楽団で輝かしい歴史を残してきた。

この群馬音楽センターは、街・市民のシンボルとしての教会であり、世界遺産になりうると国際的にも高く評価されている。レーモンドは、数々の教会の設計をほぼボランティアで行っており、数多くの教会が残されており、その教会の建設にあたっては、寄付によって賄われている。その意味で群馬音楽センターは、高崎の教会、シンボルである。この群馬音楽センターが現在危機に扮している。それは、ほとんどメンテナンスされてないことだ。利益追求を目的とした現在の資本主義の構造の中で、「市場が小さく、解決難易度が高い」社会課題に取り組む事業・活動は、取り残されてしまう現状だ。群馬音楽センターは、課題解決に時間を要し、短期的な利益は見込めないけれど、未来の新たなインフラにもなりうる施設である。経済合理性だけでは測れない価値のあるそうした領域に、より多くの金の流れを生み出していくことだ。そのため手段が、クラウドファンディング (crowdfunding) で、群衆 (crowd) と資金調達 (funding) を組み合わせた造語だ。インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募る仕組みだ。目に見える需要が少ないという理由から資本主義の仕組みではお金が集まりにくく、実現可能性が低くなる。これまでは国の助成金や交付金によって支えられてきたが、様々な領域に資金が必要になる中、カバーしきれないこともあるが、クラウドファンディングによって解決している。この手法は、文化・芸術の分野でも実績と歴史があり、業績をあげている。今回、空間あいでは、9月30日群馬音楽センターで行われる演奏会において、助成金に頼らず、クラウドファンディングに挑戦することにしました。

様々なプレゼントを用意しています。ご協力をお願いします。

群馬音楽センターを愛する会会長 水上勝之
株式会社 空間あい 新井 浄

返礼品


- 群馬音楽センター
・ 50周年缶バッジ
・ 60周年記念誌
・ ドローンによる撮影動画
- 高崎のレガシー
- 当日演奏会チケット

仮



チケット取り扱い

Web

高崎芸術劇場メンバーズ ▶ 

(要・無料登録)

電話


高崎芸術劇場チケットセンター
TEL.027-321-3900(10:00~18:00)

株式会社 空間あい

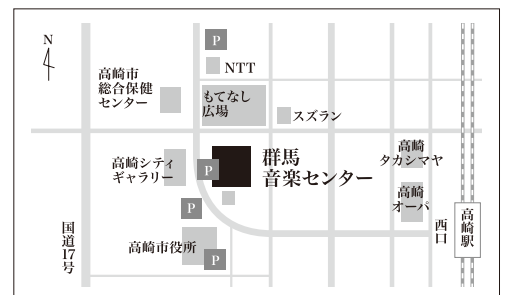
090-1815-4608 info@kuukanai.com
ゆうちょ銀行 振替口座 00280-2-141735 カ)クウカンアイ
※上記にご送金いただければチケットを送付します。

窓口

- 高崎芸術劇場チケットカウンター
 - 群馬音楽センター・高崎市文化会館
 - 高崎シティギャラリー
- ほか 高崎市施設プレイガイド

WEBサイトからも
購入できます▶ 

アクセス



群馬音楽センター (JR高崎駅西口より徒歩約10分)
〒370-0829 高崎市高松町28-2 TEL.027-322-4527

一般社団法人 東京プライム・シンフォニー・オーケストラTPSO Tokyo Prime Symphony Orchestra

TPSOは、2007年国内外で活躍するフリーランスの演奏家や在京オーケストラメンバーにより新たな演奏の可能性と芸術性を求めて創立されたオーケストラで、創立以来、おもにアジア諸国との友好増進、文化芸術交流及び音楽芸術の発展をその目標として、韓国をはじめ、国内外多数のクラシックフェスティバルに招待されている。これまでに30回の定期演奏会を含む100回以上の特別企画演奏会を行い活動している。

東京プライムシンフォニーのメンバーは、個々人がソリストとしての能力を持っており、これまで数多くの演奏活動を通じて高い技量と数準高い音楽会で好評を受けてきた。現在、曾我大介を首席指揮者に迎えている。

曾我大介 (指揮) *Daisuke Soga, conductor*

ブザンソン、コンドラシンの二大指揮者コンクール第1位での優勝を始め、数多くのコンクールで上位入賞。日本、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地で活躍を続け、2017年にはルーマニア・ブラショフ・フィルの日本ツアーを大成功に導いた。ルーマニア国立放送響首席客演指揮者、大阪シンフォニカー響音楽監督などを歴任。東京ニューシティ管弦楽団とは2005年から2022年3月まで17年にわたり信頼関係を築き、楽団の発展に大きな足跡を残した。音楽祭や講習会の講師、コンクール審査員、作曲家としても活躍中。著書に『ベートーヴェン、21世紀のウィーンを歩く。』など。令和3年度外務大臣表彰受賞。

キム・スンヨン (ソプラノ) *Kim Soon-young, Soprano*



ソプラノのキム・スンヨンは大韓民国の漢陽大学音楽大学声楽科を首席卒業した後、ドイツのマンハイム国立音楽大学修士および最高演奏者課程を修了し、東亜音楽コンクール、ソソジョン音楽コンクール、スイスジュネーブ国際コンクールなど国内外多数のコンクールに入賞した。

これまでドイツHeidelbergオペラフェスティバルに主役出演およびスイスジュネーブ劇場主催のアルバム録音に参加し、ハンセ大学音楽学部招聘教授、世宗大学音楽学部外来教授などを歴任し、国立オペラ団ではラ・トラヴィアータ、魔術笛、セビリアの理髪師、愛の妙薬、コーギー・ファン・トゥテ、ラボエム、愉快的な未亡人など多数のオペラ主役として出演して大韓民国オペラ大賞特別賞、2015ミュージカル最高女優新人賞などを受賞した。

また、国内外でザグレブ・フィルハーモニー、ローマ・シンフォニー、チェコ・フィルハーモニー、KBS交響楽団、コリアンシンフォニー、釜山市響、蔚山市響、大田市響など有数のオーケストラと多数共演した。

彼女はKBS開かれた音楽会、ザ・コンサート、文化しおりなど多数の公演を行い、ジャンルをさらに拡張してミュージカル領域でも大きく活躍しながら国内に熱烈なファンダムが形成されている現在韓国最高のソプラノの一人だ。

キム・スンイル (作曲) *Kim Seung-Il, Composer*



大韓民国朝鮮大学校師範大学音楽教育科及び同大学院卒業。大韓民国朝鮮大学校師範大学音楽教育科教授(1974-2008)、米国Texas Tech. Univ. School of music研究教授、米国North Carolina State Univ. Dept. of music研究教授、朝鮮大学校師範大学長(1999-2001)。現在、朝鮮大学校名誉教授。

2008年<音楽への招待>というインターネット講座を開発、オンラインで嶺南大学、朝鮮大学校、韓国海洋大学校、ウソク大学校で講義した。

<音楽活動>個人作曲発表会7回(1970、1975、1984、1992、2008、2010、2012.)、キム・スンイルピアノ演奏会(2005)、金スンイル創作歌曲集アルバム「出盤」(1986)

<著書>音楽美学入門、キリスト教典礼と洋楽の変遷、クラシック音楽の聞き取りなど著書11編

イ・ユンソ (ヴァイオリン) *Lee Yoonseo, Violin*



バイオリニストのイ・ユンソは梨花京郷コンクール1位、KCO全国音楽コンクール1位、少年韓国日報コンクール1位など国内有数のコンクールで優勝し、イェウォン学校を首席入学し、早くも卓越した才能を示した。イ・ユンソは錦湖英才コンサートに選ばれ数回のリサイタルを開催し、以後大関嶺国際音楽祭ライジングスター音楽会、ベルギー王妃招請特別音楽会などに出演するなど多数の音楽会に招請された。これまで英国RBC&ソウル芸術高校チャンバーオーケストラ、チューリッヒチャンバーオーケストラ、水原市立交響楽団など国内外多数のオーケストラと共演し、2021年香港HKGNA (Hong Kong Generation Next Arts) 国際コンクール2位および特別賞を受賞した。イ・ユンソはソウル芸術高校を経て現在ソウル大学音楽大学に在学中。

ウ・スヒョン (ヴァイオリン) *Woo Suhyeon, Violin*



第4回音楽教育新聞社大邱支社全体大賞、第64回音楽教育新聞社1位及び梁山アートホール入賞者演奏会、第37回イェジン音楽コンクール低学年の部1位、第53回シティフィルハーモニー管弦楽団協演、マイコンテストコンクール初等部大賞、イドゥンクラシック音楽コンクールバイオリン部特賞。

牙山病院とソウルオーケストラが共にする白血病患者支援後援音楽会協演
師事:ホン・ウィヨン、ナムリン(現)ソウルシンジュン小学校2年生在学中、8歳

国際交流を通して世界の文化を見つめる

東京プライム・シンフォニー オーケストラ



群馬音楽センター設計
アントニン・レーモンド
(1888-1976)
Antonin Raymond

群馬音楽センター公演

子供文化芸術活動
支援事業
18歳以下の方を
500名
ご招待!



曾我大介
Daisuke Soga
(指揮)
Conductor



イ・ユンソ
Lee Yoonseo
(ヴァイオリン)
Violin



新井晶子
Akiko Arai
(ソプラノ)
Soprano



三輪英
Hana Miwa
(ソプラノ)
Soprano



角田和弘
Kazuhiro Tsunoda
(テノール)
Tenor



江原実
Minoru Ebara
(バリトン)
Baritone



鈴木美知瑠
Michiru Suzuki
(ナレーション)
Narration

TOKYO PRIME SYMPHONY ORCHESTRA

第31回定期演奏会

2023年9月30日(土) 18:30開演(18:00開場)

群馬音楽センター 全席自由 4,000円

第1部 ヴァイオリン／イ・ユンソ
ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61

第2部 モーツァルト -オペラで聴く恋のカタチ-
歌劇《フィガロの結婚》より 序曲

〈結婚間近の幸せなカップルの歌〉〈男性にやきもちを焼かせる恋の歌〉
〈恋への憧れを歌う少年の歌〉〈恋に浮かれた少年を懲らしめる歌〉

歌劇《魔笛》より

〈恋と結婚に憧れるモテない男の歌〉〈勘違いの失恋の歌〉
〈モテない男がお姫様に夢中〉
〈引き離された恋人への想いと絶望〜そして再会のしあわせ〉

Part I
Violin / Lee Yoonseo
Beethoven / Concerto, violin, op.61, D major

Part II
《Le nozze di Figaro》
〈Overture〉〈Duetto(Suzanne/Figaro)〉
〈Arie (Suzanne) “Giunse alfin il momento – Deh vieni, non tardar o gioia bella”〉
〈Canzona(Cherubino) Voi, che sapete〉 〈Aria (Figaro) Non più andrai, fallfallone amoroso〉
《Die Zauberflöte》
〈“Ein Mädchen oder Weibchen”〉〈“Ach ich fühls, es ist verschwunden”〉
〈Alles fühlt der Liebe Freuden〉〈Pa pa pa Papagena〉

主催：一般社団法人東京プライムシンフォニーオーケストラ、群馬音楽センターを愛する会、株式会社空間あい

共催：一般社団法人群馬オペラ協会、NPO日本少年少女オーケストラ協会

後援：駐日韓国大使館、韓国文化院、群馬県、高崎市、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、群馬楽友協会、高崎国際音楽協会
チェコ共和国大使館、チェコセンター東京

